東和のあゆみ

第121号
加賀市立東和中学校
ＰＴＡ啓発委員会
印　刷
有限会社 たけうち印刷

『今　思う事』

ＰＴＡ会長
山本　清一郎

衣替えも終え、夏の装いが目に付く様になりました。保護者の皆様に於かれましては日頃よりＰＴＡ活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、一学期も終盤に差し掛かり、もう暫くで夏休みに入っていきます。今年入学された一年生は最初の夏休みになり、期間中は部活動に汗かく日々となるのではないでしょうか。三年生にとっては中学校生活最後の夏休みとなり、この先の進路について考える時期に入っていきます。文部科学省のデータで日本の高等学校への進学率は着実に向上し、昭和四十九年度で90％を超えたと出ております。

私が中学三年生だった時は進学を希望し、一生懸命勉学に励もうと決意した頃だったと思います。しかし決意とは逆行した日々もあり、決してあるべき姿ではなかったと今頃になり反省しております。

ある本に書かれていた事ですが、何故勉強する必要があるのかとの問いに対し、それは自分が無知な事を知る事であり、そして色々な事を知る喜びを得る事とありました。これは色々なことに探究心を持ち、それを継続し続けることと自分なりに理解をしております。また、集中力、考える力、情報を正しく読み取る力が勉強により身につくとも言われております。

子供達にはこれからの時間を大切に育んでほしいと切に感じます。

保護者の皆様にはＰＴＡ活動を通じ、学校や保護者間との信頼関係を保ち、これから担う子供達と共に成長していただけたらと思います。

期待を裏切らない学校を

学校長
代工和雄

日に日に暑くなり、間もなく夏休みに入ろうとしています。本校は、「安全で安心できる教育環境に整備し、生徒一人ひとりの資質や持てる能力・個性を伸ばし、充実感のある学校生活を送ることで、自立心の向上、豊かな心の育成、健康や体力の保持増進を図り、夢や希望の実現に向けて主体的に努力する活力ある人間づくりを目指す」ことを教育理念に掲げ、三年目の取り組みを進めております。この理念達成のために、まず土台となるのは、教師と生徒の信頼関係、生徒相互の温かい人間関係を築くことであると考えています。

現在、子どもたちの学校生活は大変落ち着き、自発的に挨拶をする生徒が殆どとなり、授業にも意欲的に取り組んでいます。また、部活動でも、一生懸命取り組む態度があり、大変頼もしく思います。

三年前の生徒会執行部と懇談をした際には、子どもたちは自信が持てず、学校生活のマイナス面を多く嘆いていました。

今年度前期生徒会は、「当たり前の意識　～一人一人の服装から学校全体を変えよう！～」のスローガンを掲げています。自分たちの力で、学校をさらに良い方向に変えて行きたいという、強い願いがあふれ出ています。今や、子どもたちは、東和中学校の良いところを堂々と言えるようになってきました。大変うれしいことです。

これは、日頃よりご協力を頂いている保護者の皆様や、教育講演会などでご支援を頂いている地域の皆様のお力添えがあっての賜であることは言うまでもありません。大変有り難く、この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

私達教職員は、「健全な心身と確かな学力を持ち、目標の実現に努力する子ども達を育てること」が学校への期待であると自覚し、わかる授業で確かな学力をつけ、各行事や部活動を通して、子ども達の心身の成長につながるように、様々な取り組みをして参ります。

「夢を掴むことというのは一気には出来ません。小さなことを積み重ねることで、いつの日か信じられないような力を出せるようになっていきます。」という、日米通算４２５７本のヒットを記録したイチロー選手のこの言葉を支えとして、今後も一歩ずつ着実に積み重ねて参りたいと思います。

今後、保護者の皆様や地域の皆様には、体育祭、文化祭や授業参観など、子どもたちの活動をご覧頂いたり、ご協力を頂いたりする機会が増えるかと思います。ご理解とご協力を重ねてお願いいたします。

ＰＴＡひろば

中学入学

一年　保護者

あっと言う間に小学校生活六年が過ぎ、今までとは違う環境に、不安で仕方のない様子だった四月でしたが、一日一日中学校生活を過ごすうち、笑顔で登校、下校してくれるようになり、安心しています。初めて経験する事もあるでしょうが、日々を大切にして、充実した中学校生活を送ってほしいと思います。心からあなたの事を皆が応援しています。また新たな友達との学校生活を楽しんで下さい。

1年　入学式

中学に入学して

一年　保護者

「お母さん行って来ます。」中学生活が始まり、娘は毎日目を輝かせて学校に向かう。学校から帰ると部活に勉強、友達の事を色々話してくれる。そんな娘の姿と私の中学時代とが重なる。母親と沢山ケンカしたが、沢山話もした。亡母も私が娘の事を思うのと同じ様に私の事を見守り育ててくれたんだなと思う。これからも娘の限りない可能性や力を親として支えて応援していきたい。

部活動に出会って

二年　保護者

もともと学校が好きではなかったので、中学校生活がとても心配でした。しかし部活動のおかげで毎日学校に通えています。朝練も絶対に休みたくないと、眠い目をこすりながら朝早くから出て行きます。今まで何もやる気のなかった我が子にこんなに夢中になれることが出来、本当に嬉しく思います。

親として

二年　保護者

二年生になり今まで以上に楽しそうな我が子。そんな我が子との楽しみな時間は、夕飯を食べながらいろいろな話をする時。学校での出来事、勉強、部活、友達…。もちろん嫌だった事も話してくれる。それでも話をした後は笑顔になる。ホッする。

これからもいろいろな事があるだろう。親として何が出来るだろう。どんな時も笑顔でドーンとかまえていようと思う。我が子が、みんな笑顔でいられるように。

2年　金沢自主プラン

受験生

三年　保護者

我が子がいよいよ受験生。受験はまだまだとのんきに過ごしてきましたが、気付けば三年生。一番の楽しみにしていた修学旅行も終わり、部活動もあと少しとなり、最後までしっかりやり遂げて精神的にも強くなったと成長を感じています。

その鍛えられた精神で、受験勉強に励んでほしいと思います。子供自身が納得できる成果が得られるように、親として全力でサポートしていきます。

やる気スイッチ

三年　保護者

「勉強しなさい」最近子供の頃に、親に言われた事を、よく思い出す。

しかしある日を境に言われなくなった。私がスイッチを押したから。いわゆる「やる気スイッチ」だ。今となっては、そのきっかけが何だったのかは覚えていない。親だったのかもしれないし、周りの刺激だったのかもしれない。ただ一つだけ言えるのは、そのスイッチを押したのは、自分自身だったという事。

中学生という多感な時期。もちろん、友人と遊び、部活で汗を流し、ゲームだってした。しかしその日を境に、その言葉を親から言われた覚えがない。きっと親にもやる気が伝わっていたのだろう。

修学旅行が終わり、部活もラストランに近づいてきた。これからの進路のイチブを決める初めての受験に向け、目の前のスイッチは押せていますか？そのスイッチを押せるのは、自分しかいないのですから。私達も全力でサポートしますよ。

3年　修学旅行

編集後記

啓発委員長　二山由紀子

「東和のあゆみ」121号発刊にあたり、原稿を快く引き受けていただいた生徒の皆さん、先生方、保護者の皆さん、そしてご協力いただいた全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。どうもありがとうございました。

これからも、笑顔あふれる子どもたちの成長と、東和中学校の更なる発展を心から願っています。

加賀市立東和中学校　TEL.0761(74)0279